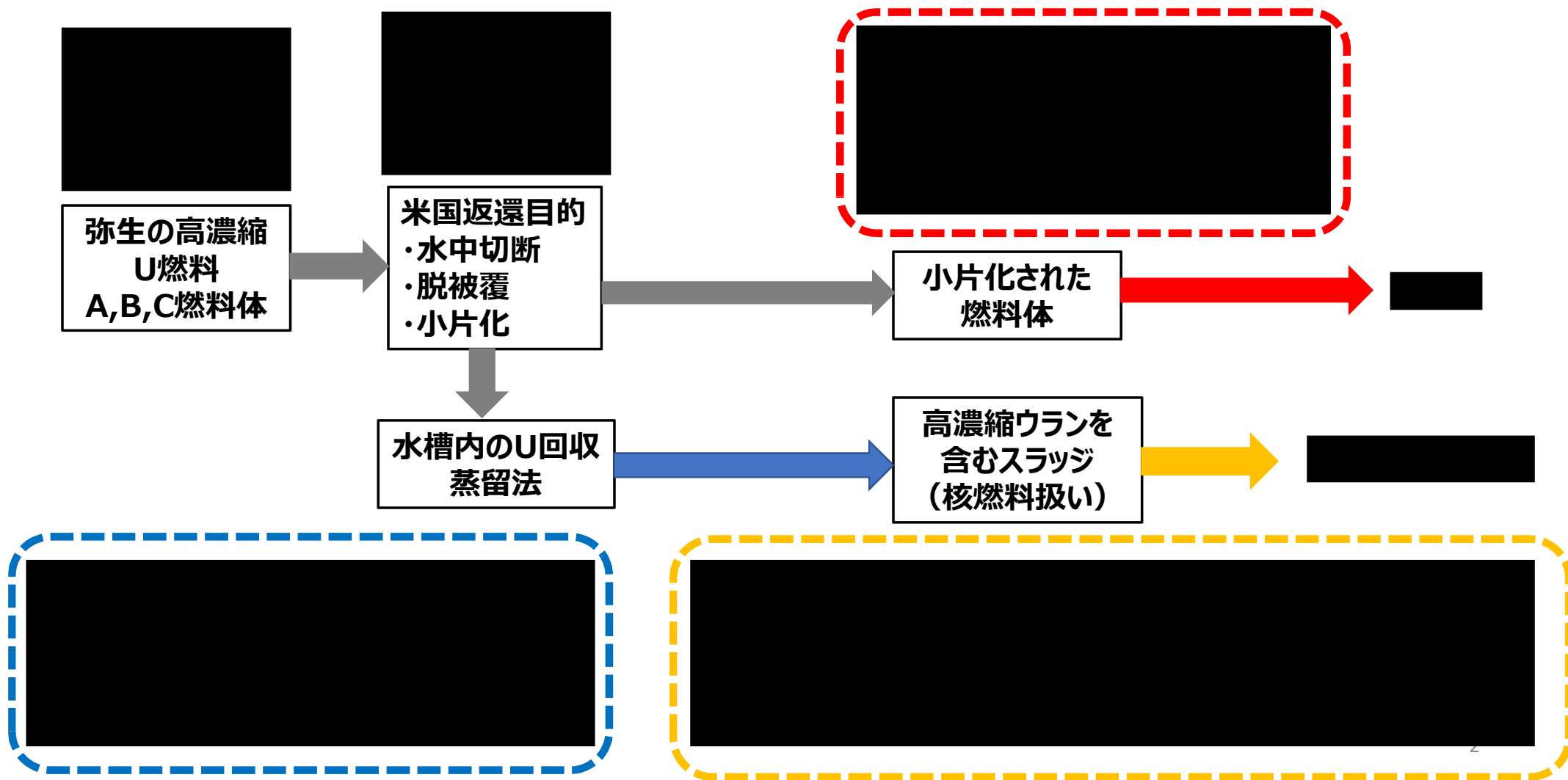


オンライン面談用説明資料

—廃止措置計画書の変更について—
令和4年3月28日

東京大学大学院工学系研究科原子力専攻

高濃縮ウラン燃料に係る切断/蒸留/粉体化



【設置変更承認と廃止措置計画の変更】

- ・2011年3月11日の運転をもって、永久停止とした。
 - 総運転時間: 17,380時間、総積算熱出力: 10,125kWh/炉心(2011年3月末時点)。
- ・2012年3月27日付けで設置変更の承認を得た。
 - 「使用済み燃料の処分の方法」で高濃縮ウランを██████に引き渡すことを明記する。
- ・2012年8月24日付けで初版廃止措置計画の承認を得た。
 - 炉心から取り出した高濃縮ウラン燃料は、国内処理し、██████に譲渡する。
 - 高濃縮ウラン燃料の譲渡条件を満たすために、燃料を水中にて████g以下の小片に切断し、脱被覆する。
 - 水中切断した際に生じる高濃縮ウラン切粉は、できるだけ回収し、燃料片と同様に██████に譲渡する。
 - 高濃縮ウランの切断に向けて、まず劣化ウラン燃料を試験体として切断作業に供する。
- ・2014年2月21日付けで第2版廃止措置計画変更の承認を得た。主な変更は、ウラン切粉の回収方法を蒸留法とした。
- ・2014年2月25日に炉燃料と組成を同じくする使用施設の実験用燃料(高濃縮ウラン)を██████に譲渡した。
- ・2018年12月6日付けで設置変更の承認を得た。
 - 「使用済み燃料の処分の方法」で高濃縮ウランの譲渡先を██████として変更した。
- ・2019年9月25日付けで第3版廃止措置計画変更の承認を得た。主な変更は、燃料の譲渡先を██████とした。
- ・2021年6月25日付けで第4版廃止措置計画変更の承認を得た。主な変更は、法令改正(品管規則)取入れ。
- ・2021年██████
 - ██████
 - PP上の区分変更のために、設置変更承認申請が要か？
- ・██████に、脱被覆切断した際に生じた高濃縮ウラン切粉を回収し、██████に譲渡を予定する。
 - 2022年4-5月に第5版廃止措置計画変更する。主な変更は、スラッジ輸送工程の見直し。

東京大学原子炉の現廃止措置計画の工程

図4 弥生炉廃止措置計画の全体工程

2021年度



廃止措置計画書の初版申請及び承認年度を+1年として表記している。
また、第3段階では、廃止措置終了確認申請後、原子力規制委員会の確認をもって、原子炉施設の廃止を完了する。

廃止措置終了の時期は、
廃棄物の措置により変化する。

※年間事業計画書(原子力安全協定)及び現廃止措置計画書におけるスケジュールでは、2026年(令和8年)度で
廃止措置が終了する計画として記載。

